



甲南大学における 教科支援図書館ガイダンス

平成24年度 兵庫県大学図書館協議会研究会

2012.10.23



甲南大学図書館 情報サービス係

堀越 みち代

今野 智子

libadm-ej@adm.konan-u.ac.jp



発表の内容

1. 甲南大学の紹介
2. 図書館の紹介
3. 「教科支援図書館ガイドンス」
4. 事例紹介



1. 甲南大学の紹介

1) 概要

- 設立： 1919年甲南学園創立
1951年甲南大学発足
- 学生数：【学部学生】約9,300人
【院生】約310人
- 教員数： 約280人(専任)
- 構成： 大学8学部、大学院4研究科、
専門職大学院2研究科





2.図書館の紹介

1) 概要

- **沿革**: 1942年 図書館設立(旧制高等学校東館)
1978年 現図書館完成(地上4階、地下1階)
- **蔵書数**: 約47万冊(大学全体約100万冊)
- **閲覧席数**: 803席
- **奉仕対象者**: 学内構成員、卒業生、甲南高中生、
地域公開利用者(登録料3,000円/年)ほか
- **職員構成**: 専任職員8名、嘱託職員2名ほか
(閲覧(カウンター)、目録、受入などを業務委託)
※うち、ガイダンス担当者 専任2名、嘱託1名



3. 「教科支援図書館ガイダンス」

- 1) 概要
- 2) 目標
- 3) 業務内容
- 4) 実績
- 5) 課題



3. 「教科支援図書館ガイダンス」

1) 概要

<図書館ガイダンス全体図>

教科支援図書館ガイダンス	Step1オリエンテーション	業務委託
	Step2情報検索法基礎	職員
	Step3情報検索法応用	職員
書庫入庫ガイダンス		業務委託
新入生オリエンテーション		業務委託
<キャリアセンター共催> 就活に役立つ「日経データベース講座」など		外部講師
<学生部主催> 学生生活指導ガイダンス 「図書館の利用について」		職員



3. 「教科支援図書館ガイダンス」

2) 目標

Step1→2→3と段階を追ってガイダンスを受講することで、卒業時には、「問題を解決するために、情報を主体的に使いこなせる能力」が身につくことを目指す。

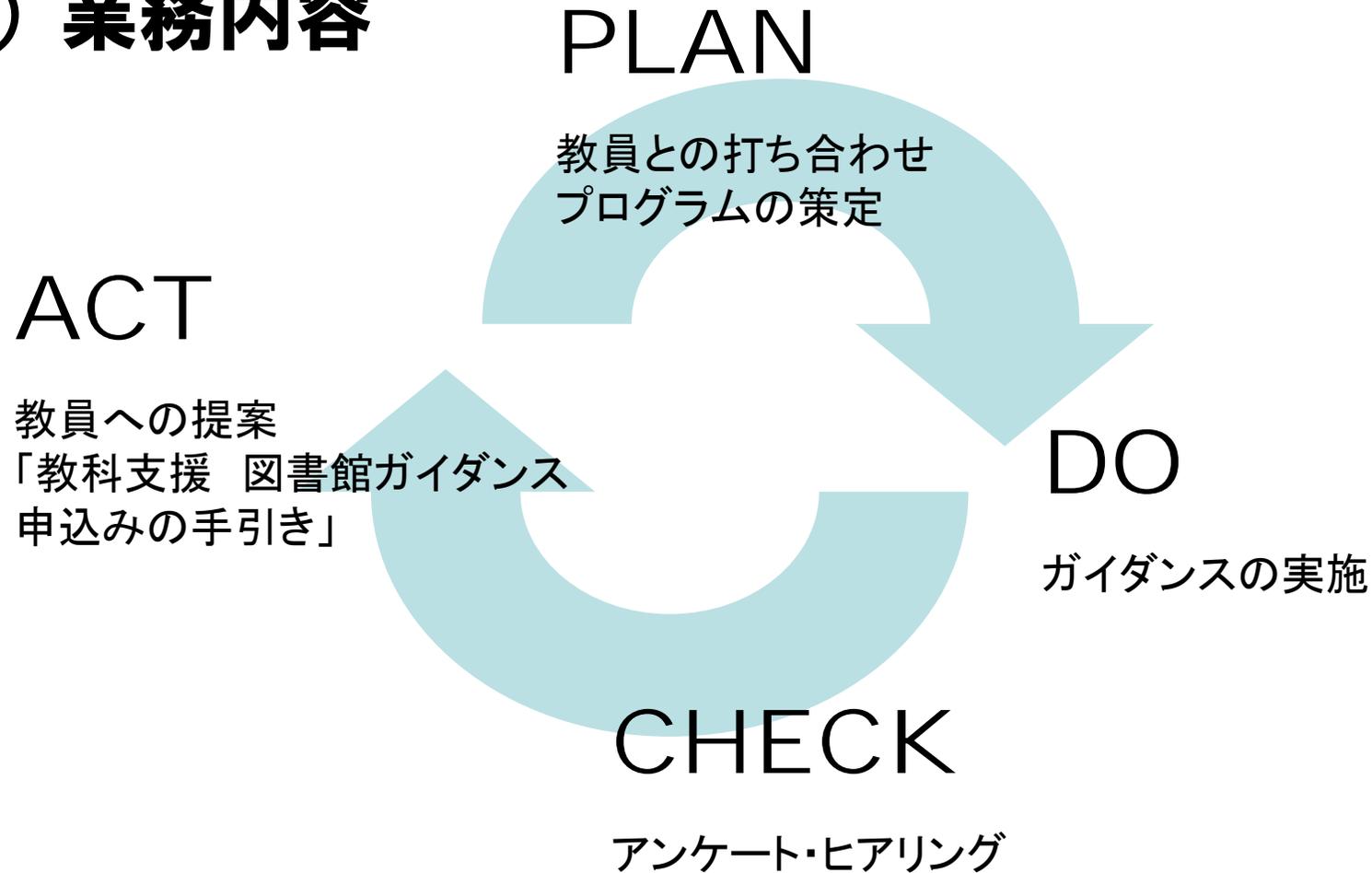
2. 図書館ガイダンスの概要





3. 「教科支援図書館ガイダンス」

3) 業務内容





3. 「教科支援図書館ガイダンス」

4) 実績 (2012. 9月現在)

		2010年	2011年	2012年
ゼミ単位	件数	27	25	21
	受講者数	383	509	310
学部・ 学科単位	科目数	3	4	4
	回数	5	14	17
	受講者数	634	996	1041
	科目内訳	法 「基礎演習Ⅰ」 於：大教室 文 「社会調査基礎Ⅰ」 文・日文「基礎演習Ⅰ」	法 「基礎演習Ⅰ」 文 「社会調査基礎Ⅰ」 文・日文「基礎演習Ⅰ」 営 「基礎演習」	法 「基礎演習Ⅰ」 文 「社会調査基礎Ⅰ」 文・日文「基礎演習Ⅰ」 営 「基礎演習」
	受講者数計	1017	1505	1351



3. 「教科支援図書館ガイダンス」

5) 課題

- ① ガイダンスを実施する人員の問題
現在：情報サービス係 職員3名体制
今後：担当できる職員の増加、
定型化できるものは業務委託化を検討
- ② 教員との連携強化
 - ・高度なガイダンスへの申し込みが少ない
 - ・申し込み学部には偏りがある
- ③ 実習場所や機器の問題
 - ・実習に使用するパソコンの経年劣化(予算削減)
 - ・機器を使用できる実習場所の確保(閲覧室を転用)



4. 事例紹介

1) ステップアップ型ガイダンス

【事例1-①】 法学部 「基礎演習」(1年次)★

【事例1-②】 法学部 (3・4年次)

2) 高学年次向けの専門文献検索入門

【事例2】 知能情報学部 4年次

3) 低学年次向けの図書館体感型ガイダンス

【事例3-①】 文学部 歴史文化学科(1年次)

【事例3-②】 文学部 英語英米文学科(2年次)

【事例3-③】 文学部 社会学科「社会調査基礎」(1年次)★

★印は学部・学科単位での実施



4.事例紹介 -1)

1) ステップアップ型ガイダンス

目標

基礎から応用へとガイダンスを受講することで、課題を解くために独力で情報を使いこなす力が、段階的に身につく。

①【基礎】与えられた課題を解決することができる

各学問分野によって作法は異なる

②【応用】テーマ(課題)設定から情報探索、加工まで主体的に行えるようになる

レポート課題や卒論作成に「今すぐ」役立つように

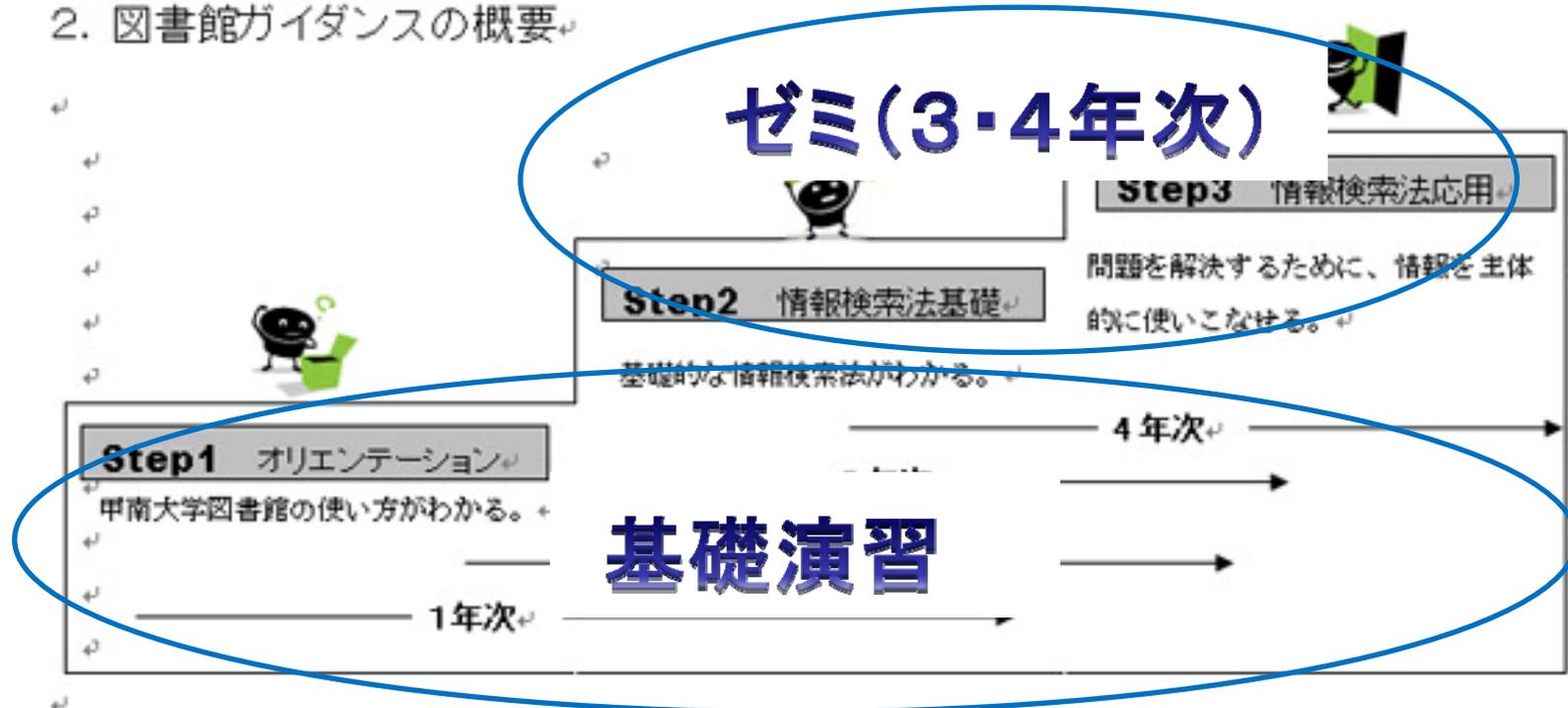


4.事例紹介 -1)

1) ステップアップ型ガイダンス

【事例1】法学部

2. 図書館ガイダンスの概要





4.事例紹介 -1) ステップアップ型①基礎編

【事例1-①】法学部 基礎演習（1年次）434名

教員の要望： どんな資料がどこにあるかを覚えさせたい
基本的なデータベースを実際に操作させたい

- 1、本の探し方 (15分)
- 2、雑誌記事・論文の探し方 (10分)
- 3、新聞記事の探し方 (10分)
- 4、法情報の探し方 (10分)
- 5、館内ツアー (45分)



4.事例紹介 -1) ステップアップ型①基礎編

【事例1-①】法学部 1年次

教科支援 図書館ガイダンス ワークシート

学籍番号 _____ 氏名 _____

法学部 基礎演習 実施年月日: 2012年 5月29日、6月5日、12日、19日、26日

1 本の探し方

問1 【OPAC】を使って、「国際関係」と「政治」に関する本を探す。

問2 【OPAC】を使って、戸部信喜『憲法』(第5版)を探す。

【本の情報】

① タイトル 憲法 (第5版)

② 著者名 戸部信喜

③ 出版社 _____

④ 出版年 _____

【本の配置場所】

* 配置場所 _____

* 請求記号 _____

2 雑誌記事・論文の探し方

問3 データベース『CINII』を使って、「内定取り消し」に関する雑誌記事・論文を探す。

【記事・論文の情報】

① 論文名 ロー・ジャーナル 内定取り消し問題を考える

② 著者名 成井 寛

③ 掲載雑誌名 _____

④ 巻号 _____

⑤ ページ _____

⑥ 発行年 _____

【雑誌の配置場所】

* 配置場所 _____

3 新聞記事の探し方

問4 データベース『ヨミダス歴史館』を使って、「交通事故」の「歴明化」に関する新聞記事を探す。

問5 データベース『ヨミダス歴史館』を使って、「ハンドルキーパー運動」がいつごろから始まったのかを調べる。

4 法情報の探し方

① 法令の条文を探す

問6 データベース『D1-Law』を使って、「危険運転」についての法令を検索する。

D1-Law → [現行法規\(現行法検索\)](#)





4.事例紹介 -1) ステップアップ型②応用編

【事例1-②】法学部 Aゼミ (3・4年次) 14名

教員の要望： 夏休みの課題を解くために、独力で文献を探せる力を

- 1、雑誌記事・論文の探し方
『CiNii』 『NDL-OPAC (雑誌記事索引)』
- 2、法情報の探し方 (1) 文献の探し方
『D1-Law (法律判例文献情報)』
▶学内で文献を入手できない場合
- 3、法情報の探し方 (2) 判例の探し方
『LEX/DBインターネット』
- 4、企業情報の調べ方
『日経テレコン21』 『日経BP』



4.事例紹介 - 1) ステップアップ型②応用編

【事例1-②】法学部 3・4年次

図書館活用 ヒント集
法情報の入手方法 - どこにどのような資料があるのか -

	冊子体 (一例)	データベース (★は学内限定)
文献 ... 法律の制定趣旨や解釈、判例についての解釈や考え方、事件の背後にあった社会的事実などを、さまざまな書き手から知ることが出来る。		
図書・雑誌	特定テーマの研究書、○○法の概説書・体系書、教科書 コンメンタル(法律を一条文ごとに解説) 法律用語集、法律学事典 2階参考図書コーナー 統計、白書(事実をデータから知る) 2階参考図書コーナー	<図書・雑誌の横断検索> 『D1-Law(法律判例文献情報)』★ 『法律文献総合 INDEX』(TKC)★ 『CINii Books』 『国立国会図書館サーチ』 <雑誌記事・論文> 『法律時報』『法学紀要データベース』★ 『NDL-OPAC(雑誌記事索引)』『CINii Articles』 『J-STAGE』 <白書> 『電子政府の統計窓口 e-Gov』、各地方自治体のホームページ
論文	『ジュリスト』『法律時報』『法学教室』『法学セミナー』 2階雑誌コーナー、サイバー、雑誌館 大学紀要(例)『甲南法学』 雑誌館 学会誌(例)『私法』	『日経テレコン2』★ 『ヨミダス歴史館』★ 『開蔵Ⅱ』★
新聞記事 話題となった事件の殆どが判決当日に掲載される。抜粋や要旨だが、要点がわかる。	原紙 1階新聞コーナー、当日分以外2年分はカウンターへ(当月1階、それ以降2階) 縮刷版 2階カウンター前、雑誌館	
判例 ... 裁判所が法的判断をする際に参考とする、過去の裁判所の判断。法令をどのように解釈し、適用しているか。		
判例集	『最高裁判所判例集(民事・刑事)』 2階雑誌コーナー、雑誌館	『裁判例情報』(裁判所 Web サイト内) 『公的判例集データベース』★
判例雑誌	『判例時報』『判例タイムズ』 2階雑誌コーナー、サイバー、雑誌館	
判例データベース・Web		『LEX/DB インターネット』★
判例評釈・解説	『判例百選』シリーズ(別冊ジュリスト) 『〇〇年度重要判例解説』(ジュリスト臨時増刊) 2階雑誌コーナー、サイバー、雑誌館 大学紀要、学会誌	『法律文献総合 INDEX』(TKC)★ 『D1-Law(法律判例文献情報)』★ 『CINii Articles』 『NDL-OPAC(雑誌記事索引)』
判例コンメンタール	『基本法コンメンタール』(別冊法学セミナー) 2階雑誌コーナー、サイバー、雑誌館	
法令		
官報 国の機関が定めた法令を公布・公告するために発行する新聞	『官報』(新聞) 2階カウンター (2年分) 『法令全書』(月刊) 雑誌館	『インターネット版「官報」』
法令全書 『官報』から交付法令を抜粋し、交付年月日順に法の形式別に編集	『六法全書』(年刊) 2階参考図書コーナー 『ポケット六法』 『判例六法』	
六法		
差し替え式法令集 現在有効な法令を体系的に編集	『現行日本法規』 『現行法規総覧』 2階カウンター前	『Super 法令 Web』★ 改正履歴も検索できる 『D1-Law(現行法規)』★
法令データベース・Web キーワードから法令を探す		『法令データ提供システム』(総務省) 施行済みの法令のみが検索対象 『日本法令索引』(国立国会図書館※) 現行法令、廃止法令、制定法令、法律案、条約承認案件を検索できる
国会議事録 「法令」がどのような趣旨で作られ、国会で議論されたか		『国会議事録検索システム』(国立国会図書館※)

<法情報の調べ方案内 (参考資料) >
 【本】 いしかわまりこ・藤井康子・村井のリ子『リーガル・リサーチ』第4版 日本評論社 2012
 ・吉田利英・いしかわまりこ『法令読解心得帖』日本評論社 2009
 【Web】 国立国会図書館「リサーチナビ」http://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/
 ・いしかわまりこ「法情報資料室やさしい法律の調べ方」http://www007.upp.so-net.ne.jp/shirabekata/

※国立国会図書館とは・・・
 日本の立憲府である国会に属し、国会の立法行為を補佐することを第一義とする国会図書館であり、国内唯一の国立図書館である。納本制度に基づき、日本国内で発行される出版物を網羅的に収集・保存し、国会(国会議員、国会関係者)、行政及び司法の各部門(政府各省庁及び最高裁判所)、国民(一般利用者、公立その他の図書館、地方議会等)に対してサービスを行っている。東京本館、関西館、国庫子とも図書館の三つの施設がある。



4.事例紹介 -1) ステップアップ型②応用編

【事例1-②】法学部 3・4年次

<ポイント>

- 1つのテーマに沿った、多様な資料の収集方法を案内
テーマ:会社法における「取締役の責任」について
 1. 雑誌記事・論文の探し方・・・書誌事項の見方
 2. 法情報の探し方(文献)・・・文献情報から得た情報を元に実際に資料を入手
学内で文献を入手できない場合・・・相互利用制度、近隣の図書館の利用
 3. 法情報の探し方(判例)・・・
 - ①テーマに関連する条文から関連判例を探す (旧商法との対照)
 - ②判例の原典に当たったり、評釈から学説などを調べる
 4. 企業情報の調べ方・・・就職活動に役立つ情報収集法を案内
- 情報活用ヒント集「法情報の入手方法」を作成 (図書館HP参照)



4.事例紹介 -2)

2) 高学年次向けの専門文献検索入門

目標

初めて「研究」を行う3・4年生が知っておくべき基本的な学術文献と探し方について知る

- ①各学問分野によって「基本的な学術文献」と「探し方」は異なる。
- ②データベースの使い方ではなく、信頼できる情報の選択方法に重点を置く。

『CiNii』では、初心者の学生は「信頼できる論文」を選択できない。



4.事例紹介 -2)

2) 高学年次向けの専門文献検索入門

【教員との事前打ち合わせ】

ガイダンスを受講することで、
「何ができるようになってほしいか」

- ・ これからどんな課題を与えるか
- ・ ゼミの研究テーマ
- ・ 卒業論文・卒業研究のテーマ
- ・ ゼミで使用する具体的な学術雑誌名
- ・ 過去のゼミの活動内容



4.事例紹介 -2) 専門文献検索入門

【事例2】知能情報学部 Bゼミ（4年次）8名

教員の要望：図書館で学術論文などを入手できるようにしてほしい
論文以外のデータベースについても知ってほしい

0. 学術論文が掲載されている「学術雑誌」の種類について
1. 国内の論文の探し方
 - 『J-STAGE』を使って学会誌を検索
 - 『CiNii』を使って検索範囲を広げる
2. 国際論文の探し方
 - * キーワードを英語にする（学術用語）
 - 『IEEE Xplore』を使って、学会誌を検索
 - * 『Google Scholar』について
3. そのほかの「情報検索データベース」
4. 図書館について



4.事例紹介 -2) 専門文献検索入門

【事例2】知能情報学部 4年次

【学術論文が掲載されている「学術雑誌」の種類】

ワークシート 表

● 学会誌

① 機関誌： 研究成果の論文や動向・展望・ニュースなどを掲載した学会情報誌

【例】 <国内> 『電子情報通信学会誌』

『計測と制御（計測自動制御学会）』

<国際> 『IEEE Transactions』

② 学会論文誌： 学会に所属している研究者による投稿論文集

【例】 『電子情報通信学会論文誌』

『計測自動制御学会論文集』

③ 学会会議録(大会論文集)：「学会」で発表された研究の講演録、関連する論文集

【例】 『自動制御連合講演会講演論文集』

④ そのほか 「技術研究報告集」など

☆査読 (peer review) とは・・・



4.事例紹介 -2) 専門文献検索入門

【事例2】知能情報学部 4年次

に関する情報 [Link for this item!](#)

ワークシート 裏

【本文を入手する方法】

- ① 『甲南大学電子ジャーナルリスト』で電子ジャーナルを検索
- ② 『甲南大学蔵書検索システム OPAC』で冊子体の雑誌を検索
- ③ **先生にうかがう**
- ④ 図書館の「相互利用サービス」を使って、他大学の資料を利用する
 - ・図書館2階「レファレンス・相互利用カウンター」で申し込み
- ⑤ オープンアクセスを探す
 - ・『Google Scholar』や『甲南大学電子ジャーナルリスト』の「詳細検索」から『機関リポジトリ』などでオープンアクセスになっている論文を探す
 - ※オープンアクセスの論文には、精度の低いものも多く含まれるため、利用には注意が必要です。



4.事例紹介 -3)

3) 低学年次向けの図書館体感型ガイダンス

目標

図書館には、どんな本がどこにあって、どういうときに使うのかを理解する。

- ① 図書館を利用する『体験』
- ② 実際に本に触れる『動機付け』
「難しそう」から「面白そう」、「これなら使えそう」へ



4.事例紹介 -3) 図書館体感型①

【事例3-①】文学部 歴史文化学科

Cゼミ（1年次）8名

教員の要望： OPACを使用せずに、図書館を使えるようにしてほしい
「宝さがし」的な演習をしてほしい

1. 館内ツアー（40分）
本の紹介、使い方の説明
2. 『OPAC』の使い方（20分）
3. 「本さがし」実習（20分）
好きな本を探して自動図書貸出機で貸出手続をする
一人ずつ、本を選んだ理由と、どこにあったか
（配置場所・分類番号）を発表



4.事例紹介 -3) 図書館体感型①

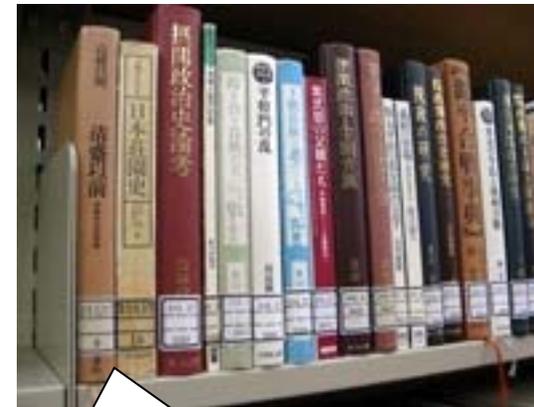
【事例3-①】文学部 歴史文化学科 1年次

分類番号000 → 分類番号200 ① →



『ツタンカーメン発掘記』
(ちくま叢書)

分野の棚以外の場所にまと
まってある



210.37～ 平安中期～

古い時代から新しい時代の
順に並んでいる



4.事例紹介 -3) 図書館体感型①

【事例3-①】文学部 歴史文化学科 1年次

分類番号200②



分類番号200③



日本から
西へ、西へ
地球を一周



『長崎オランダ商館日記』

「史料」(翻刻)

* 色々な種類の本が一緒に並んでいることに注意！

塩野七生『十字軍物語』

小説形式は読みやすいが、事実と区別しなくては、学術的には使えない。



4.事例紹介 -3) 図書館体感型①

【事例3-①】文学部 歴史文化学科 1年次

分類番号300 ...

貸出中

ある首斬り役人の日記

フランツ・シュミット

(白水Uブックス)

『ある首斬り役人の日記』

他の分野で、歴史に関する
本が見つかることも...



4.事例紹介 -3) 図書館体感型②

【事例3-②】文学部 英語英米文学科

Dゼミ（2年次）24名

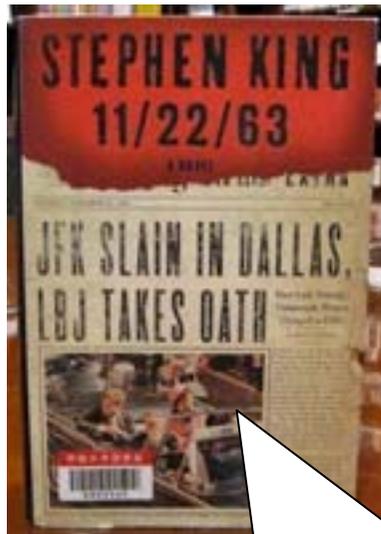
教員の要望： 図書館の基本的な使い方を理解させたい

1. 本の探し方
『OPAC』、日本十進分類法
2. 館内ツアー
3. WebcatPlusを使う
4. 書評を探す
新聞記事検索
5. 辞書・事典検索



4.事例紹介 -3) 図書館体感型②

【事例3-②】文学部 英語英米文学科 2年次



Stephen King『11/22/63』

「タイムスリップができるなら、ケネディ暗殺を止めるか？」

この小説を「面白く」読むためには・・・

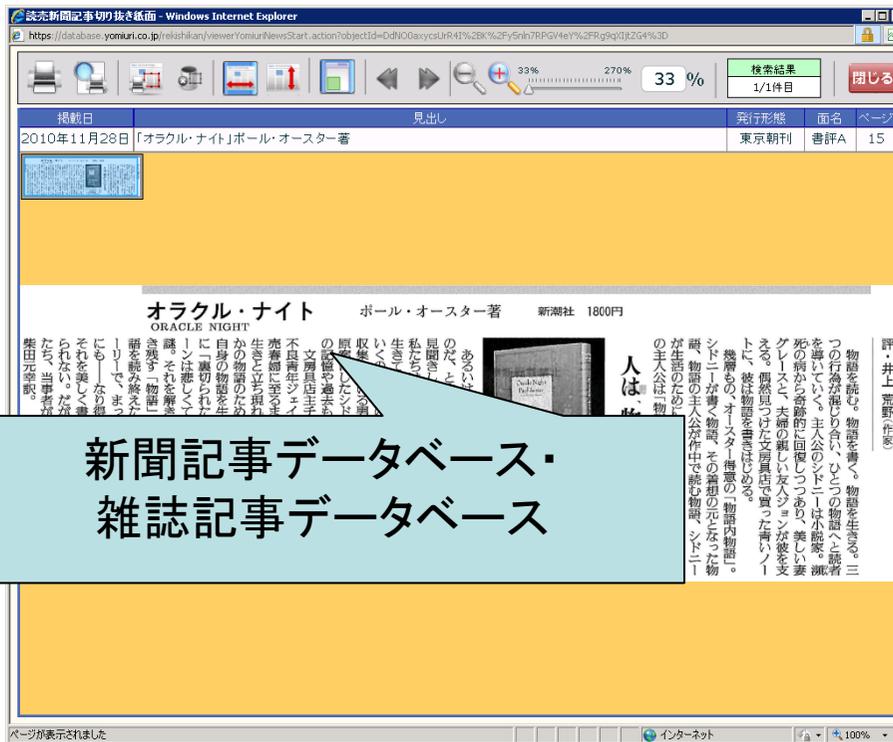
- ・1960年代アメリカはどんな時代か
- ・ケネディ後のアメリカに、何があったのか





4.事例紹介 -3) 図書館体感型②

【事例3-②】文学部 英語英米文学科 2年次



「面白い」本を探すには・・・

「プロ」の書評を参考に
読むべきポイント・視点
探すべき情報

→ **新聞記事データベース**
雑誌記事データベース

アマゾンのレビューや
口コミは使わない。



4.事例紹介 -3) 図書館体感型③

【事例3-③】文学部社会学科「社会調査基礎」 (1年次)116名

教員の要望： 図書館の基本的な使い方を理解させたい
資料に直接触れる実習を行いたい

2コマ連続で2週に亘っておこなう(90分×4回)

<1週目>

①図書館オリエンテーション → ②図書館演習

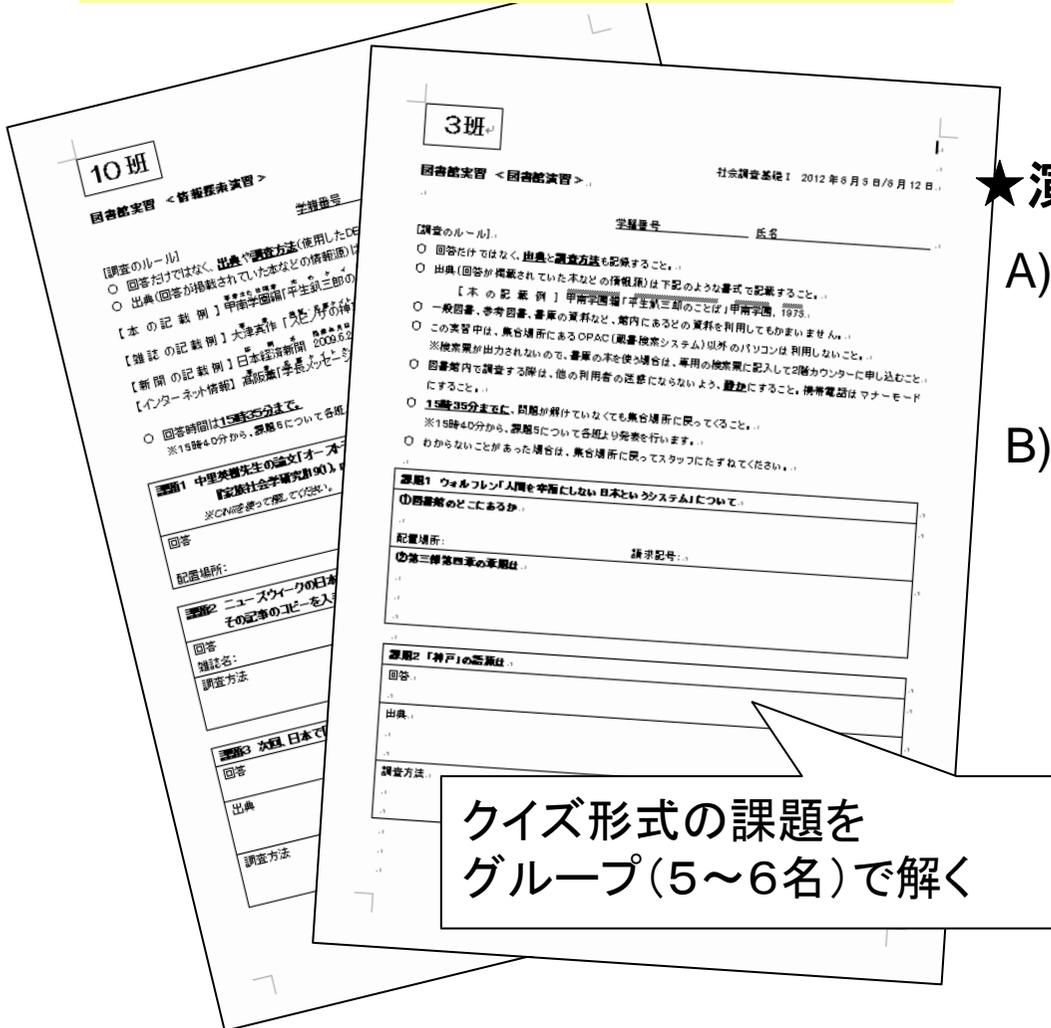
<2週目>

③情報検索法基礎 → ④情報検索演習



4.事例紹介 -3) 図書館体感型③

[事例3-③]文学部 社会学科1年次



★演習課題には、2つのタイプを用意

A) クローズド・タイプ

=1つの質問に1つの解答

B) オープン・タイプ

=調査内容によって回答が変わるもの

クイズ形式の課題を
グループ(5~6名)で解く



4.事例紹介 -3) 図書館体感型③

【事例3-③】文学部 社会学科1年次

【図書館演習】

A) 本を探す ⇒ ○○という本はどこにあるか

A) 参考図書を使う ⇒ △△とはなにか

B) 指定された範囲から本を選ぶ ⇒ **発表**

- ・指定場所にはどんな本があったか
- ・なぜその本を選んだか

【情報検索演習】

A) データベースを使う ⇒ ○○という雑誌記事を入手する

A) インターネットを使う ⇒ △△とはなにか *信頼できるサイトから入手することが条件

B) グループでカフェを出店するとしたら、どこがいいか? ⇒ **発表**



まとめ

<教員の役割>

- ・ガイダンスの**目的設定**
- ・各学問分野における文献探索の「作法」

<職員の役割>

- ・実際の情報探索に近い「体験」の提供
- ・学生と図書館との**信頼関係の構築**

協働・連携

短時間の受講でも、高い効果を得られる。



ご清聴ありがとうございました。

